

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 調査事件

(1) 函館市病院事業経営における今後の対策について

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、8月26日付けで資料が配付されているので、説明を受けるため、理事者の出席を求めたいと思うが、いかがか。（異議なし）
- ・ 理事者の入室を求める。

（病院局 入室）

○委員長（池亀 睦子）

- ・ それでは、資料について説明をお願いします。

○病院局管理部経理課長（熊木 武）

- ・ 資料説明：令和2年度函館市病院事業の事業実績（6月末）（令和2年8月26日付 病院局調製）
- ・ 最後に、函館市病院事業経営改革評価委員会について報告させていただく。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回も集まっての開催は行わず、事務局が個別に資料の説明をしまいった。そのため、議事概要をホームページで公開することはできないが、委員の方からは、「やむを得ない結果だが、コロナの対応をしっかりとやって欲しい。医療従事者の方は健康に気をつけて頑張ってもらいたい。」などの感想を頂いたところだ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 資料の説明は以上だが、各委員から、何か発言あるか。

○松宮 健治委員

- ・ 各種報道によると、コロナのために手術件数が減少し、病院として制限したため大変なところもあると聞いている。市立函館病院はコロナの影響によって手術の制限をしたのか。また、今後の見込みをお聞きしたい。

○病院局事務局医事担当課長（大吉 宏昌）

- ・ 4月、5月については不要不急の手術は延期をしており、4月は206件、5月は156件だったが、6月からは通常通りの対応としたので6月は222件、7月は251件と手術件数については戻りつつある。

○松宮 健治委員

- ・ 手術件数が減ると収入も減ると思うので、現在は増えてきているとのことでした。
- ・ 市立函館病院は3次救急を担っているのですが、突然の救急に備え、外来の紹介状の患者さんは現在受け付けていないとあるが、今後も現在の対応を続けるのかお聞きしたい。

○病院局事務局医療連携担当課長（崎野 輝彦）

- ・ 現在は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、外来待合の混雑を緩和し、ソーシャルディスタンスを確保するため、外来の一部を制限し、紹介状をお持ちでない新規の患者受け入れを休止している。ただし、急を要する症状を呈している患者については紹介状の有無にかかわらず受け入れしている。
- ・ 制限については、全国的に感染状況が収まっていないため、当分の間継続していきたいと考えている。

○松宮 健治委員

- ・ 緊急の場合は紹介状が無くても受け入れるということで了解した。紹介状が無い場合は医療費がその分高くなるという認識で良いか。例えば、緊急で来た時に紹介状が無いと初診時の医療費が高くなると聞いているが、その関係はどうなるのかお聞きしたい。

○病院局事務局医事担当課長（大吉 宏昌）

- ・ 緊急については初診時加算料は算定しない取扱いになっている。

○松宮 健治委員

- ・ 最後になるが、ドクターヘリについて伺う。昨年、一昨年と順調に運用が進んできたと承知していたが、報道によると新型コロナウイルス感染対策で出動が減ってきているとあるが、現状はどうか。また、今後どのようになるのかお聞きしたい。現場でもコロナのために出動要請を減らすこともあるかもしれないし、市立函館病院で制限をかける場合もあるかとは思いますが、いかがか。

○病院局管理部庶務課長（本間 豪）

- ・ ドクターヘリは各自自治体の消防からの出動要請に基づいて出動することになっている。令和元年度と平成30年度と比較すると、消防からの要請件数は令和元年度は530件、平成30年度は539件となっており9件減となっている。それに伴い、出動件数も減となっている。
- ・ 今年度については、7月末現在で183件の出動要請があり、令和元年度と比較し2件の増となっている。
- ・ 病院局としては、ドクターヘリの運行についてコロナの影響は無いものと認識している。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 質問は、コロナ禍により、感染対策でドクターヘリを制限している場合もあるのかという趣旨かと思うが、ないという答弁でよろしいか。

○病院局管理部庶務課長（本間 豪）

- ・ ドクターヘリは新型コロナウイルスの感染者は搬送できないことになっている。消防本部の判断により、要請されない場合もあるかもしれないが、病院局としては承知していないところだ。

○吉田 崇仁委員

- ・ コロナの影響で患者数が相当減少したということだが、コロナが収束に至った場合、患者数は元に戻るのかお聞きしたい。

○病院局長（氏家 良人）

- ・ ご心配いただき感謝する。4月5月、特に5月の落ち込みは全国的に酷く、これが続くことによって函病も10億円位の赤字になるのではと懸念していた。

- ・ 当院だけではないが6月以降、ほとんどの病院は患者数が戻ってきていると思う。
- ・ 患者さんも不要不急の患者さんは減っていると思う。夜間急病センターの患者数を見ると、かなり減っている。
- ・ 本当に受診が必要な患者さんは一定程度おり、函病はどちらかという重症患者を扱ってきているので、患者数は戻ってきている。
- ・ 経営のほうも最後には良いところまでいくのではないかと職員一同頑張っている。

○吉田 崇仁委員

- ・ 病院の待合室がお年寄りの井戸端会議の場所になりつつある状況で、集まって世間話するには病院はもってこいということで、患者さんは楽しく通っていた。しかし、新しい生活様式になった途端、病院に行く患者さんが少なくなるということは、元に戻れば良いが、戻らない場合は目標も厳しい予算を立てていかなければ、赤字から脱却できないと思うので頑張っていたきたい。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 他に発言あるか（なし）
- ・ 病院局におかれては、引き続きコロナの対策をよろしく願います。
- ・ 理事者は退室願う。

（病院局 退室）

- ・ 議題終結宣言
-

2 その他

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前10時25分散会